



### 教室のご案内

#### きのご教室 (要申込)

10月20日(日) 午前9時~11時  
※集合場所はちびっ子広場内ウッド  
ドーム

#### バードウォッチング (自由参加)

9月22日、10月27日(日) 午前9時~  
11時  
※集合場所は林泉の池堰堤

9月中頃から、陶史の森の湿地で高さ20cm程の茎の先端に2cm程の白い「ヒゲ」がついたような花を見かけます。ウメバチソウ属の白髭草しろひげそうです。花びらの縁が糸状に裂けたところを白いヒゲに見立てて名づけられました。花言葉は「愛情の絆」。とても幻想的な花です。

この蜜のような玉に誘われ虫たちが寄ってきます。この時、本物の雄しべの花粉は虫たちの体について雌しべにたどり着きます。シラヒゲソウは湿地のどこにでもあるというわけではありませぬ。表面にいつも水が浮いているような典型的な湿地ではなく、やや湿り気が多いけれど水が地表に流れていない湿地を好みます。シラヒゲソウは絶滅危惧Ⅱ類に指定されている貴重な植物です。陶史の森で大切に守っていききたいですね。

### 白い髭の花びら ーシラヒゲソウー

トキハク  
プロジェクト

### 新博物館準備だより

## 学芸員は、いま何してる？

美濃陶磁歴史館  
(☎55-1245)



空になった収蔵庫

5月から継続中の移転の動きは、8月いっぱいであろうかと完了となりました。梱包が済んだ資料から順次、仮保管場所へ移され、ぎっしり詰まっていた収蔵庫が空っぽになっていく様子は、さすががしくもあり、寂しくもあります。そして、9月から、旧文化会館と美濃陶磁歴史館の解体工事が始まりました。

2つの施設の歴史を振り返ると、昭和47年に文化会館が、昭和54年に美濃陶磁歴史館が開館しました。文化会館では、市民音楽祭や美術展、成人式などが催され、文化活動の拠点として市民に親しまれました。そして、美濃陶磁歴史館

### 第5回 美濃陶磁歴史館 解体へ



右 文化会館で行われていた成人式 (昭和51年)  
左 昔は図書館だった美濃陶磁歴史館の展示室 (昭和50年)

